

R1 for Windows インストールガイド

このインストールガイドでは、R1 for Windows(以下、R1)のインストールのための環境構築方法や手順について説明します。

以前のバージョンからのバージョンアップの場合

インストール実施前にご使用の手引き『2.2. 以前のバージョンからのデータの移行について』を参照の上、インストール作業を行ってください。

1 インストール形態

R1 のインストールには、サーバインストールとスタンドアロンインストールの2通りの形態があります。

通常は、サーバインストールを行います。ネットワークを利用せずに、個人(1台のマシン)でR1を使用する場合は、スタンドアロンインストールを行います。

(1) サーバインストール

ネットワークを利用して、R1 をグループで使用します。グループで情報を共有するなど、R1 を本格的に活用できます。

R1 は、グループで共用しているサーバマシンのフォルダへインストールされます。

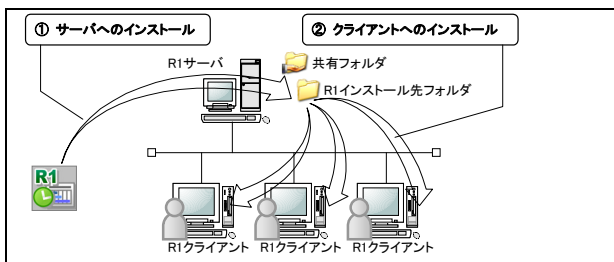
サーバインストールは以下の2段階の手順で行います。

① サーバへのインストール

R1 を共用のサーバへインストールします。
このインストールは、システム管理者が最初に一度だけ行います。

② クライアントへのインストール

サーバにインストールされた R1 を、各ユーザが使用できるように、各ユーザのマシンへインストールします。
このインストールは、各ユーザがそれぞれ行います。



- R1 のインストール先として、サーバと共有フォルダが必要です。
既存のサーバ、共有フォルダを使用するか、R1 用に用意したサーバ、共有フォルダを使用します。

サーバへのアクセス負荷が高い場合、R1 の動作が遅延する場合があります。他の業務により負荷が高いサーバへのインストールは避けることをお勧めします。

- Windows Server のほか、Windows 7 / Vista / XP / 2000 Professional のファイル共有機能を利用して、サーバとして利用することもできます。

Windows Server へのアクセラライセンスは別途ご用意ください。
Windows 7 / Vista / XP / 2000 Professional の場合、Windows のファイル共有機能に同時接続の制限(同時接続数 10 まで)があります。制限の範囲内でご利用ください。

- サーバへインストールした R1 を消去(アンインストール)する機能は用意されていません。サーバの R1 の消去は、各ユーザのクライアント側のアンインストールが終わった後、エクスプローラなどでR1のフォルダ以下を削除してください。

(2) スタンドアロンインストール

ネットワークを利用せず、個人でR1を使用するためのインストールです。個人情報の管理など、R1 の基本的な機能を活用できます。

R1 は、ご使用のマシンのフォルダへインストールされます。



2 インストールの準備(サーバインストールの場合)

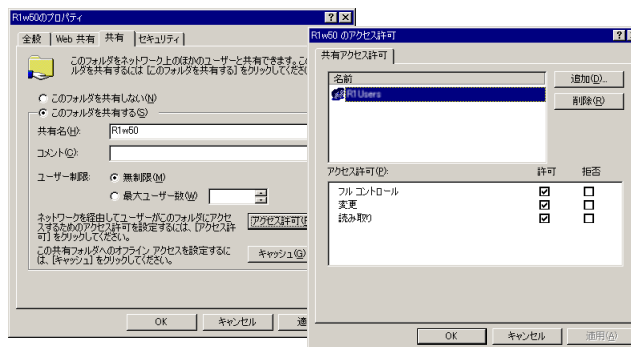
インストール先のサーバで、共有フォルダを準備します。既存の共有フォルダを使用する場合は、セキュリティ設定を確認します。

(1) フォルダの共有(新しい共有フォルダを使う場合のみ)

フォルダのプロパティの[共有]タブ画面を開きます。

[このフォルダを共有する(S)]を選択し、[共有名(H)]を入力します。

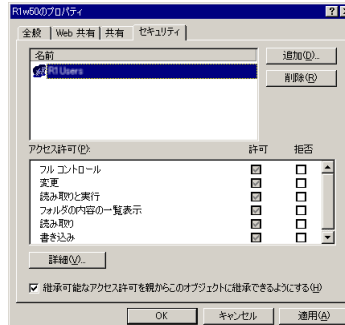
[アクセス許可(P)] ボタンを押し、アクセス許可画面を開き、R1 を利用するユーザに対してフルコントロール権限を設定します。



(2) フォルダのセキュリティ設定の確認

フォルダのプロパティの[セキュリティ]タブ画面を開きます。

R1 を利用するユーザに対してフルコントロール権限が設定されていることを確認します。(設定されていない場合は設定を変更してください。)



3 インストールの実行

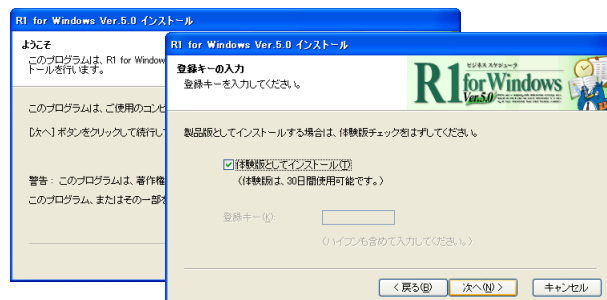
(1) サーバインストール

① サーバへのインストール

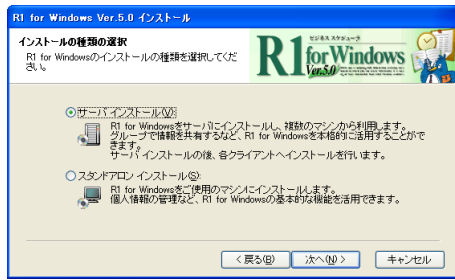
クライアント上で、R1 インストールプログラム(r1v50setup.exe)を実行します。(サーバ上で実行することも可能です。)

[よろこ]画面が表示されるので、[次へ(N)>] を押します。

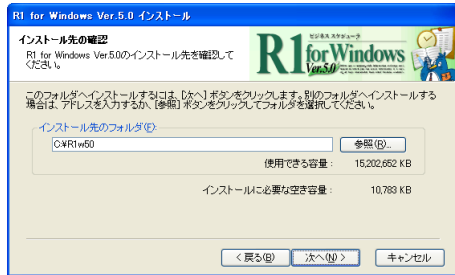
[登録キーの入力]画面では、登録キーを入力、または[体験版としてインストール]を選択し、[次へ(N)>] を押します。



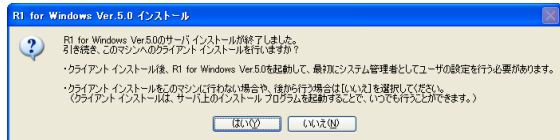
[インストールの種類を選択]画面では、[サーバインストール(V)]を選択し、**次へ(N)>** を押します。



[インストール先の確認]画面では、インストール先のフォルダを指定し、**次へ(N)>** を押します。

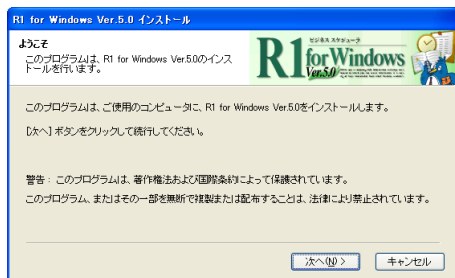


以降は画面の指示に従い、操作してください。サーバへのインストールが完了すると、以下のメッセージが表示されます。**はい(Y)** を押し、引き続きクライアントインストールを行ってください。

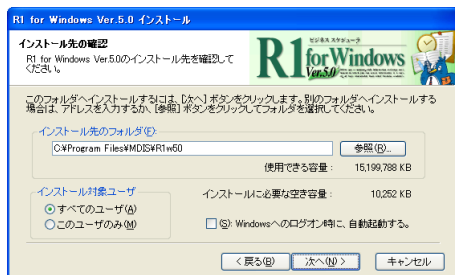


② クライアントへのインストール

クライアント上で、サーバの共有フォルダにインストールされた R1 クライアントインストールプログラム(Setup.exe)を実行します。**よろこ**画面が表示されるので、**次へ(N)>** を押します。



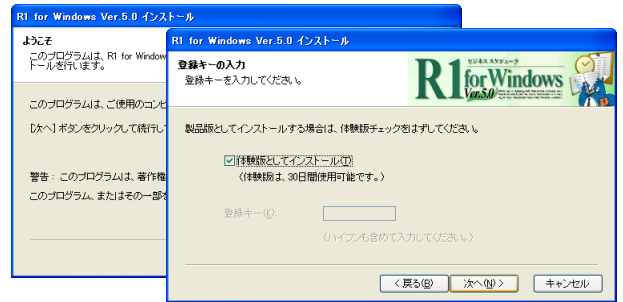
[インストール先の確認]画面では、インストール先のフォルダとインストール対象のユーザを指定し、**次へ(N)>** を押します。



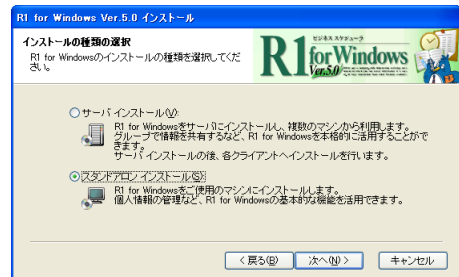
以降は画面の指示に従い、操作してください。インストール対象として[すべてのユーザ(A)]を選択した場合、以降の画面で管理者権限での実行を確認する画面が表示される場合があります。(注)
R1 を利用する他のクライアントについても、同様の手順でインストールを行います。

(2) スタンドアロンインストール

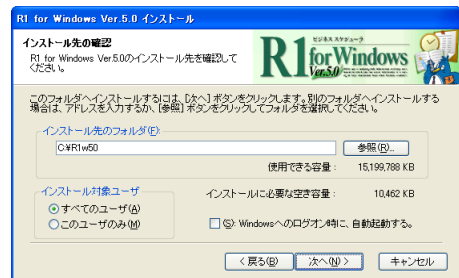
R1 のインストールプログラム(r1v50setup.exe)を実行します。**よろこ**画面が表示されるので、**次へ(N)>** を押します。**登録キーの入力**画面では、登録キーを入力、または[体験版としてインストール]を選択し、**次へ(N)>** を押します。



[インストールの種類を選択]画面では、[スタンドアロンインストール(S)]を選択し、**次へ(N)>** を押します。



[インストール先の確認]画面では、インストール先のフォルダとインストール対象のユーザを指定し、**次へ(N)>** を押します。



以降は画面の指示に従い、操作してください。インストール対象として[すべてのユーザ(A)]を選択した場合、以降の画面で管理者権限での実行を確認する画面が表示される場合があります。(注)

(注) ユーザの権限について
Windows 7 / Vista の場合、または管理者権限のないユーザでインストールを実行した場合、インストールの途中で、管理者権限でのログオンを求める画面が表示されます。ご使用のマシンの管理者ユーザとパスワードを入力して続行してください。
また、管理者権限での続行の際に、ネットワークリソースへのアクセス不可のメッセージが表示された場合は、共有フォルダにアクセス可能なユーザ名とパスワードを入力してください。

4 R1 へのログイン

インストールが完了したら、システム管理者としてログインします。操作については、ビギナーズガイド『第4章 システム管理者の基本操作をおぼえましょう』を参照してください。

5 データの自動バックアップ(推奨)

R1 のデータを1日1回バックアップすることをお勧めします。設定方法については、ご使用の手引き『2.3 データの自動バックアップの設定』を参照してください。

※ Windows[®] は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。